



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.11
R4.3.23

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

小春日和が続き、桜の花の開花が待ち遠しい時期となりました。令和3年度も皆様の協力をいただき、無事に個別事例検討会を開催することができました。

さて今回は、居宅ケアマネジャー、サービス提供事業所、障害サービス事業所、社会福祉協議会の皆さんにご参加いただきました。

★支援困難事例について検討しました。

今回検討したのは「独居で高次脳機能障害があり、他者と関係性を悪くする方への支援について」です。

ご本人は脳梗塞の後遺症として片麻痺、高次脳機能障害が残り、その他にも視力障害で生活に支障が生じる状況にあります。疾病から外出の機会も少なく、思うようにならないことから親族とトラブルを起こしたり、サービス提供事業所との関係も良好にいかず対応が困難となっています。

検討した結果、交流が薄い親族にも、

改めてご本人の疾病について説明し理解してもらい、治療に向けた支援を進めていくよう働きかけることになりました。また、関心が内側に向きやすい方でも、障害福祉の外出支援を導入し外に目を向けていくことで、生活に変化や楽しみをもたらしてみてもどうか…との意見が上がりました。

この事例検討会を通して、改めて家族とのつながりの大切さや多職種で関わることの大切さを感じました。

** 2月の検討事例の経過報告 **

★「ケアマネに苦情を繰り返すケースについて」

要介護認定から、要支援認定に変更となりました。居宅のケアマネジャーと地域包括支援センター職員で同行訪問し、介護保険サービス説明やご本人が不安に感じている点などを伺う事となりました。

検討事例
募集中



困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？

下記までご連絡よろしくお願いたします。

笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871